

【Consolation】人生に敗者はいません。その瞬間をそれぞれ精一杯に生きています。私たちはその精一杯を応援します。

【医療ソーシャルワーカー】

MSW と呼ばれる、医療機関の中にいる社会福祉の専門家です。患者や家族に対して「意思決定」「心理的・社会的課題解決」「入退院・療養」「社会生活と治療の両立」「受診・受療」「経済的課題の把握と解決」などを支援するとされています。

社会生活と治療の「両立」という言葉が使用されていますが、実際にはすべてが生活そのものです。どのようにして生きていくのか、言葉にできなくとも個々の生き様があると思います。MSW は、その思いを応援する役割です。

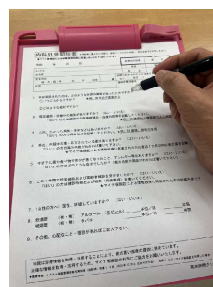
当院には、2名のMSWを配置しています。小さなクリニックに2名の配置です。院内での業務のほか、院外での業務も多く行っています。家庭訪問や受診同伴、役場への手続き同行など、皆さまの「困った」を共有します。以前から「機動力」を当院の特徴の一つとお伝えしていますが、MSWの本質は、機動力と調整能力にあり、と思っています。

2名のMSWは、ともに福祉の道30年以上のベテラン。小さな文字は見えなくても、小さな心配ごとなら見逃しません👉

***** TOPICS *****

※前号までの「TOPIX」は東証株価指数でした。「TOPICS」へ訂正します。

- 中学生の「職場体験学習」を受け入れました。
 - ・昨年度に引き続き、地元中学2年生が体験学習に来院しました。
 - ・将来の夢は、一人が医師、一人が看護師。その第一歩が当院。受け入れも緊張しました。
- 保健所の立入検査がありました（医療法第25条第1項）。
 - ・5年に1回の立入検査。日頃気が付かないことに気づかせてもらいました。



コラム：受診手続きに思うこと

先日、某大学病院への受診に同伴しました。予約時間が予約時間でないので、2時間待ちも覚悟の上でした。

しかし、問診票類の記入には、イライラ感が募りました。初診受付、外来受付、外来科の看護師、検査科でそれぞれに問診票のようなものへの記入を依頼され、そのまま入院となったので、さらに病棟でも記入し…。診療情報提供書や看護サマリーも提出しているので「書いてあるはず…」「しかもさっきも書いた」と、待ち時間の長さで相まって、私のイライラは募っていくのでした…。

と、ここで翻ります。当院は大丈夫か？と。人を以て鑑と為すことができるか。(MSW・F)

※今号は「スタッフ紹介」はお休みです。